

Material Factor I

岡山県の新設住宅および木軸住宅着工戸数

(参照: 国交省E-Stat・住宅産業新聞)

平成27年2月の木軸住宅着工戸数は 261戸

前年同月比 27.9%減

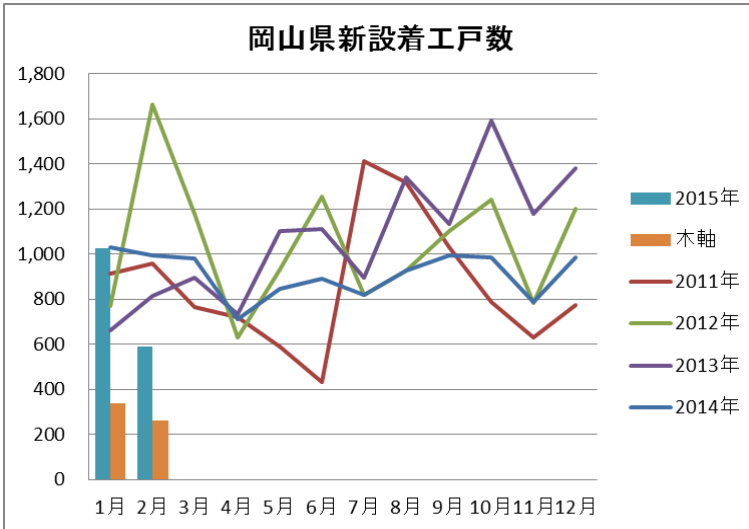
持家着工戸数 234戸

前年同月比 23.0%減

全国の「持家」減少について、減少率の構成要素は、若年一次取得層の人口減という購買層自体の母数減がベースにある。

これに「持家購買を『将来のリスク』と捉える層の存在、賃貸併用や二世帯の用途で住宅ローンを組めるお客様を概ね刈り取ってしまったこと。(市場アナリスト)

今後の受注獲得は「『買うべき理由のある客』をいかにしっかりクロージングするかの勝負になる」(同)



Material Factor II

Panasonic

2015年5月 パワーアップした住宅用創蓄連携システムが新登場!

平成26年度補正予算

「定置用リチウムイオン蓄電池導入支援事業費補助金」の補助対象機器

ベースは日本再興戦略の年2030年目標 ZEH(ゼロエネルギーハウス)そして東京オリンピックの年2020年目標「省エネ基準の義務化」

2016年には電力小売市場の自由化=7.5兆円市場の開放が目前に迫る今、住宅産業において太陽光発電の次にある勝機は創蓄連携システム!

住宅用創蓄連携システムとは

太陽電池と蓄電池フル活用するコントロールシステム

- ・目的に合わせて電気を有効利用
 - ポイント① 経済優先モードで電気代を節約
 - ポイント② 環境優先モードで電気の自給自足をサポート、
- ・新築はもちろん、リフォーム対応も可能
- ・蓄電池ユニットは10年間無償で保証

創った電気と蓄えた電気をフル活用。
(太陽電池) (蓄電池)

電気代の節約や、電気の自給自足をサポートします。

蓄電容量20%アップ!		日常使える電力量は約2倍!	
蓄電容量	従来品 4.65kWh → 新商品 5.6kWh	従来品 9.3kWh → 新商品 11.2kWh	
日常使用可能範囲	従来品 60%固定 → 新商品 最大90%~30%可変		



リチウムイオン蓄電池ユニット (5.6kWh) 屋内用
※11.2kWhの場合、2台設置になります。

Material Factor III

HEMS(ヘムス)って 家庭用エネルギー管理システム(Home Energy Management System)

家庭向けを含めた電力小売を2016年に完全自由化する改正電気事業法。これにより、家庭でも契約する電力会社を自由に選べるようになる。原発の電力が嫌だとすれば、太陽光など再生可能エネルギーで発電している新電力と契約することができる。それがソフトバンクやNTTなど通信会社の新電力であれば、通信とのセット割引でいままでもより料金が安くなるかも知れない。ガス会社であればガスとのセット割引も考えられる。また、自由化によって料金体系も多様化し、ピーク時の電力需要を抑制するため曜日や時間帯によって料金が細かく変動するようになるかも知れない。こうした電気料金の変化に対応して省エネルギー、電気代等の節約に効果を発揮するのが「HEMS(ヘムス)」である。

「HEMS(ヘムス)」は、家庭用のエネルギー管理システム(Home Energy Management System)。エネルギー管理システム(EMS)は電力、ガスなどエネルギー使用量を「見える化」し、省エネルギーのための機器制御、太陽光発電や蓄電池の制御などを行うシステムである。管理対象により住宅向けはHEMS(ヘムス)、ビル向けはBEMS(ベムス: Building Energy Management System)となる。

住宅分電盤に計測ユニットを組み込んだスマートHEMSはエネルギー使用量をピーク時に知らせる→制御(料金の安い時間帯に運転や蓄電池に蓄えた電力を利用する)などエネルギーの消費を監視しコントロールが可能だ。

一般家庭でもエネルギー消費を「見える化」したり「自動制御」することで、ライフスタイルにあったエネルギーの自給自足が可能となる。

